

# 「鴨中米」 かもちゅうまい

## 鴨志田中生が稲刈り 収穫に笑顔

鴨志田中学校（濱崎利司校長）の生徒たち18人が10月21日、同校近くの田んぼで米の稲刈りを行った。

同校には「稲作実行委員会」があり、例年生徒たちが稲の種まきから脱穀までを行っている。栽培する米は「鴨中米」と



収穫を喜ぶ生徒たち

呼ばれ、約150坪の田んぼから80～100kgが収穫でき、全校生徒と教員含む約30人に2合ずつ配られるという。

生徒たちは、NPO法人「農に学ぶ環境教育ネットクラブ」の木村広夫理事長から指導を受け、稲刈りに挑戦。鎌の持ち方や穂の置き方に注意しつつ作業を進めた。

生徒は「腰を屈めるのが大変だった。食べるのが楽しみ」と話した。濱崎校長は「市内で稲作をしている中学校は鴨中だけでは。日頃の食事やご飯を作ってくれる人への感謝の念を持ってほしい」と語った。

「タウンニュース・青葉区版 2021（令和3年）11月4日（木）号」

（株）タウンニュース社 発行